

CAMPUS MAGAZINE

青森県立保健大学広報誌

2026
vol. 54



学長 吉池 信男

保健大学のキャンパスでは、学生の皆さんののびのびと、そしてしっかりと学び、仲間たちとの活動を楽しんでいます。本冊子を通じて、その様子を知っていただければ幸いです。また、大学祭などの機会には、ぜひキャンパスにも足をお運びください。

私たちの大学の使命は、一人ひとりを尊重したケアを実践し、地域で活躍する人材を育成することです。具体的な取り組みについてはInstagramで、また、本学のビジョンについては、右のQRコード（「保健大学のお約束」）からご覧ください。



「保健大学のお約束」
については、
こちらをご覧ください。

大学祭のお知らせ 10月10日(土)・11日(日)



大学祭実行委員長
理学療法学科
3年 伊東さん

こんにちは！令和8年度青森県立保健大学の大学祭実行委員長を務めさせていただきます、理学療法学科3年の伊東です。

この場をお借りして今年度の大学祭についての紹介をさせていただきます。

今年度の大学祭のテーマは「笑華～笑う門には福来る～」です。「笑」という漢字が2回使われているように、保健大生や先生方、地域の方々を含めた沢山の方々に笑って楽しんでいただける場にしたいと考えております。笑って生活する方が前向きな気持ちになってきませんか？当日は沢山笑って保健大学を明るく、楽しい場所にしていきましょう！実習や課題、試験等で忙しい保健大生ですが、沢山笑って日々の疲れを昇華して、明日からも頑張ろうと活力を高めていただけるように実行委員会一同、全力で準備を進めてまいります。

また、昨年度と同様に芸人ステージやゲーム大会、ビンゴ大会等も開催予定です。どれも盛り上がること間違いなしの企画なので是非足をお運びください。

当日は地域の方々を含め、ご来場いただいたすべての人に楽しんでいただけるように、準備・運営を頑張ります。皆様のご来場を心よりお待ちしております！



保護者等懇談会のお知らせ 10月10日(土)

在学生の保護者等の皆様を対象とした懇談会を開催いたします。皆様のご参加、お待ちしております。

■日時：令和8年10月10日（土）10時30分から12時00分まで

■内容：10：30～後援会長あいさつ、学生部長からの情報提供

10：45～学科長からの説明
（実習支援、講義の状況、就職・国家試験）

11：00～担当教員による個別面談（事前申込制）

※申込みは締め切りました。

学 科	建 物	場 所
看護学科	青森県立保健大学 教育研究A棟3階	A305教室
理学療法学科	青森県立保健大学 教育研究B棟2階	B201会議室
社会福祉学科		B203会議室
栄養学科		B202会議室

■上記会場をご自由に入退きいただけます。
当日は大学祭を開催しています。

大学院CNSコースの紹介

令和8年度より、CNS（専門看護師）コース「がん看護」に加えて新たに「感染看護」「老年看護」の2つの専門分野が開設されました。

詳しくは
こちらから→



御寄附のお願い

本学では、教育・研究・学生生活や施設整備に活用できる「一般基金」と、特定の目的を持つ「特定基金」を設置しています。特定基金には、本学学生や大学院生、東南アジアの外国人留学生との交流を通じアジアで活躍する栄養人材を育成するEYNAプロジェクトや、絵本を活用し保健医療福祉職の魅力を発信する事業があります。

皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



↑御寄附は
こちらから

公式 Instagramフォロー のお願い

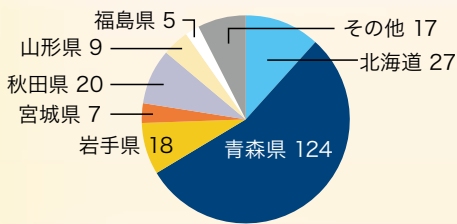
本学公式Instagramでは、イベント、授業風景、学生生活など、保健大学のリアルな日常を日々発信しています。学生による投稿もあり、多彩な視点からキャンパスの魅力をお届けしています。ぜひフォローして、本学の日常を身近に感じていただければ幸いです。

Instagramは
こちらから→





令和8年度入学者数(227名)



新入生への歓迎の言葉

理学療法学科 4年 和田さん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生一同、皆さんのご入学を心より歓迎致します。大学生活は、これまでの高校生活と異なり、学業、日常生活等さまざまな場面で自由度の高いものとなります。その中で重要となってくるのが、目標を明確にし、道筋を辿っていくことです。その中で、度々壁にぶつかることもあるかも知れませんが、周りの仲間と協力すれば、きっと上手く物事が進むはずですよ。最後に、学業だけでなく、バイトや趣味等に全力で取り組んで、実りのある4年間になることを心より願っております。

新入生メッセージ



看護学科 岡山さん

北海道から引っ越してきて始めは新しい環境に馴染めるか不安でした。しかし、今は仲間と共に助け合いながら楽しい日々を過ごしています。大変なことももちろん多いですが、勉強にバイト、遊びと充実した時間を過ごしています。



理学療法学科 佐藤さん

北海道から進学し、寮生活を送っています。最初は不安もありましたが、先生方や友達の支えのおかげで、県外出身でも安心して過ごすことができています。友人と勉強や食事を楽しみつつ、アルバイトとも両立しながら充実したキャンパスライフを送っています。



社会福祉学科 北山さん

本学は福祉系のサークルや課外活動が多くあり、楽しみながら実績を積み上げることができます。演習や講義も簡単ではありませんが、国家試験や将来を見据えた学びを1年次から得ることができるため、やりがいを感じています。



栄養学科 外崎さん

保健大では、専門的な学びを深めながら、充実した大学生活を送ることが出来ます。他学科連携授業やサークル活動などをとおして、学科を越えて仲良くなれる機会もたくさんあります。授業終わりに友達とご飯を食べながら、大学での出来事を話す時間も楽しいです。ぜひ保健大と一緒に学び、素敵な思い出を作りましょう！

在学生メッセージ



看護学科 3年 澁谷さん

1、2年生では座学や演習を中心に基礎知識と技術を身につけ、3年生からは実際の臨床現場で患者さんとの関わりの中から看護について深く学びます。ともに学ぶ友人や支えてくれる先生方のおかげで大変なことも楽しく乗り越えることができます。勉強、遊び、アルバイト、大学生活のすべてを楽しみ尽くしたいです。



社会福祉学科 4年 高梨さん

社会福祉学科では、1年生で座学を中心とした基本的な知識を学び、2年次からは実習をとおして、実践的な知識や技術を学ぶことが出来ます。実習を終えてからも、就職活動や卒業研究、国家試験対策などに取り組んでいます。これからは、卒業研究や国家試験に全力で取り組み、社会福祉士として地域に貢献できるよう頑張りたいです。



理学療法学科 4年 小林さん

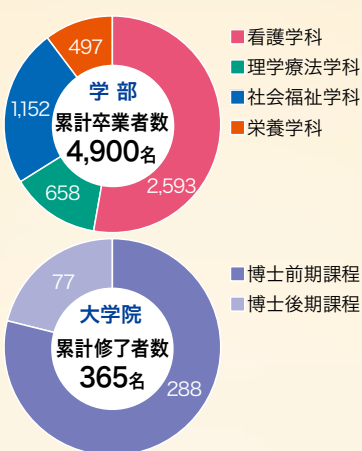
1-2年生では、主に基本的な知識を学び、3年生以降は実習が中心となり、学外の実際の臨床の場で実践していくことが増えます。実習を終えてからも就職活動、国家試験対策、卒業研究などで充実した日々を過ごしています。これまで大学生活を共に過ごしてきた学科の仲間と支え合いながら、大学生活を楽しみ尽くしたいです。



栄養学科 4年 工藤さん

少人数ならではの温かい環境で、先生方との距離が近く、親身にサポートしていただけます。また、グループワークや実習をとおして仲間と支え合いながら学び、知識だけでなく人としても成長できることが魅力です。学業だけでなく、趣味やアルバイトなど自分の時間も大切にしながら、充実した大学生活を送ることができます。

累計卒業生・修了者数



本学大学院(博士前期課程)への進学者数(過去5年間)

ストレート進学者メッセージ

保健・医療・福祉政策システム領域 障害者支援システム研究室 政木さん

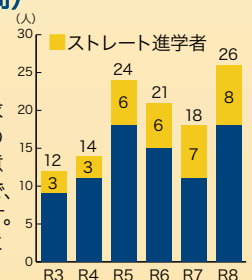


学部時代の学びをとおして関心を持ったテーマについてさらに探求したいと考え、大学院への進学を決めました。講義や研究発表会への出席をとおして、他の院生の研究に触れたり、先生方と研究について意見交換をしたりする機会があり、そこで新たな発見や知識を得ることで、より多角的な視点から物事を捉えられるようになったと実感しています。仲間と切磋琢磨し、先生方のご指導を受けながら学びを深め、社会にとって意義のある研究に繋がれるように努めていきたいと思っています。

担当教員 保健・医療・福祉政策システム領域 障害者支援システム研究室 准教授 田中 尚樹



卒業研究の成果や課題から「もっと究めたい」と思う学生がいます。その経緯を知っている教員だからこそ、学生に合わせた適切な研究フォローが可能です。大学院で、高度な研究方法やデータ分析力を養い、法制度との関連を理解することは、医療保健福祉の臨床現場において、根拠(エビデンス)に基づいた的確な課題整理や質の高い支援の実践につながります。そのような臨床を見据えて一緒に研究を進めていきたいと考えています。



グローバルヘルスプログラム

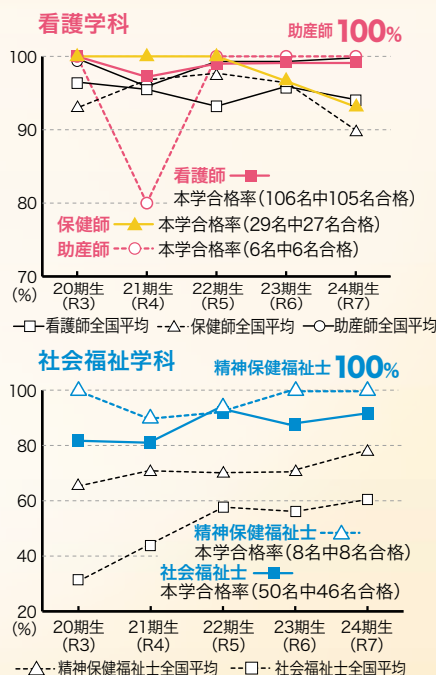


グローバルヘルスプログラム 履修生 社会福祉学科 1年 逢坂さん

私は幼い頃、テレビで発展途上国の凄惨な現状を見て日本との差に驚くと同時に、現地で働く日本人の姿に感銘を受け、世界中の誰もが適切な支援を受けられる社会を作りたいと思うようになりました。将来は、社会福祉士として世界中の人々が均一な福

祉を受けられる為の活動をし、それらの経験を地元である青森に還元することが目標です。本学ではグローバルヘルスプログラムに参加し、世界の医療福祉の現状や海外における実際の活動について学んでいます。

国家試験合格率



学科ごとの国家試験対策の取組内容

看護学科

国家試験合格への意識を高めるため、低学年から年2回の対策ガイダンスを実施し、先輩からの励ましの声や効果的な学習法を紹介しています。また、国家試験対策学生委員が支援し、模擬試験や補講、学習相談会の開催、学習環境の整備に取り組んでいます。

理学療法学科

全学生に個別に担当教員がつき指導を行います。早い段階から学科内の対策委員会が学年ごとの成績を分析して最適な学習内容を提案し、定期的な面談や模試結果の分析を通じて、一人ひとりの課題に応じた細やかな国家試験対策を行っています。

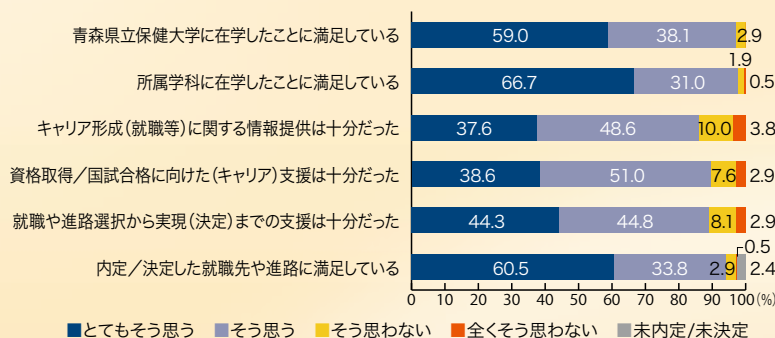
社会福祉学科

受験対策講座の開講と学生の主体的な学習を支える環境づくりを行っています。4年次実施の受験対策講座では、各試験科目を専門とする教員が出題動向等を踏まえた講義を行います。また、参考書等を取り揃えた自習室を整備し、学生の試験勉強を後押ししています。

栄養学科

近年の管理栄養士国家試験の出題傾向を分析して授業をアップデートしています。また、4年次4月に各ゼミから「国試対策メンバー」を選出し、国試対策教員とゼミ担当教員が協同してサポートしながら、学生主体で国家試験対策を進めています。

学部卒業生の満足度(令和7年度卒業生)



学部卒業生の就職率

令和7年度学部卒業生の就職率
(令和8年5月1日現在)



就職相談嘱託員 小堀 孝志

キャリア開発センターでは、学生が主体的にキャリアをデザインし、自分らしく活躍できる場を選ぶためのサポートをしています。一人ひとりの疑問や不安に、教員や就職相談員が親身に対応し、就職活動へのモチベーションを高める手助けをしています。また、求人情報や就活体験等を、どこからでも検索・閲覧できる学生専用サイトを運用しています。この他、就職活動を支援する各種行事や、オンライン面接等に対応する個別ブース環境を整えるなど、きめ細やかに学生をバックアップしています。

卒業生メッセージ(就職1年目)

看護学科 杉澤さん(病院/看護師)



私は青森県内の病院(消化器・腫瘍内科)で勤務し、内視鏡や化学療法、輸血などの治療を受ける患者さんへの看護を日々学んでいます。当院での実習経験が私の看護観の原点です。皆さんも目指す看護師像やロールモデルを見つけてみてください!応援しています。

理学療法学科 矢内さん(介護老人保健施設/理学療法士)



埼玉県の介護老人保健施設で勤務しています。利用者様の全体像を把握した上で、生活に即したりハビリが提供できることにやりがいを感じています。在学中は勉学に励むことはもちろん大切ですが、何も考えずに思いきり遊べる期間でもあります。両立して頑張ってください。

社会福祉学科 千葉さん(児童養護施設/社会福祉士)



現在、青森県内の児童養護施設で児童指導員として、子どもたちが安心して生活できるよう支援しています。先輩方から、子どもに寄り添う支援の大切さを学ぶ毎日です。大学生活では勉学だけでなく、様々な経験を大切に、楽しみながら頑張ってください!

栄養学科 木村さん(公務員/管理栄養士)



私は現在青森県職員として保健所で働いています。業務の中では、管理栄養士だけでなく、さまざまな職種の方と関わりながら仕事を進める機会があります。行政の仕事では、法律や制度など、身につけなければならない知識が多くあり、覚えることの多さに苦労することもあります。日々楽しみながら仕事に取り組んでいます。在校生の皆さんも大学で学んでいる専門分野だけにとらわれず、様々なことに興味を持ち、挑戦してみてください!



学生部長メッセージ 児玉 寛子

今年度も後期が始まりました。10月には「青の煌めきあおもり障スポ」が開催されます。期間中、多くの学生がボランティアとして参加します。活動をとおして共生社会を考える貴重な体験が得られることを期待しています。また課外活動では、「国スポ・障スポレシポコンテスト」特別賞受賞、東北インカレ(3000m障害)優勝など輝かしい成績も修めています。様々な体験は学生生活をより豊かにしてくれることでしょう。引き続き、皆様のご理解とご協力をどうかよろしくお願いいたします。



グローバルヘルスプログラム リーダー 栄養学科 教授 三好 美紀

2025年4月よりグローバルヘルスプログラム(GHP)が開始し、2年目に入りました。GHPでは、総合教育科目および各学科の専門科目に加えて、GHP必修科目を履修し、海外短期研修等に参加すると「GHP修了生」として認定されます。初年度のGHP学生7名に続いて、今年は6名(看護学科3名、

理学療法学科1名、社会福祉学科1名、栄養学科1名)の1年生を迎えて合計13名となりました。GHP学生たちは学科や学年を越えて協力し合い、積極的に活動に取り組んでいます。

後援会からのお知らせ



後援会会長 佐藤 大志

日頃より、青森県立保健大学の教育・学生支援活動にご理解とあたたかいご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

後援会では、新入生研修や学生の福利厚生、大学祭、サークル活動および卒業研究、国家試験対策への助成等、入学から卒業までの多くの場面で、大学と連携しながら、学生生活を支えてまいりました。令和8年度からは、入学時に実施する感染症等の抗体検査への費用助成を開始し、支援の充実を図っています。

学生たちは、学びのなかで多くの出会いや経験を重ね、成長していきます。その過程を見守り、ときに背中を押すような存在であることが、後援会の大切な役割だと感じています。今後も会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、学生支援に取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

令和8年度青森県立保健大学後援会役員

役職名	役員氏名	学科	学年
会 長	佐藤 大志	社会福祉学科	2年
副会長(理事)	高坂 五大	社会福祉学科	3年
副会長(理事)	高橋 陽介	看護学科	1年
理 事	大里 洋志	看護学科	3年
理 事	柿崎 真澄	理学療法学科	3年
理 事	鹿内 謙三	栄養学科	1年
理 事	長内 勇仁	看護学科	1年
理 事	大町 善宏	看護学科	1年
監 事	高橋 成明	看護学科	1年
監 事	小形比呂史	社会福祉学科	4年
顧 問	児玉 寛子		

後援会 決算・予算

(収入の部) 令和7年度 後援会決算書

(単位: 円)

項 目	7年度予算(A)	7年度決算(B)	比較 (B-A)	摘 要
1 会費収入	12,100,000	12,040,000	△ 60,000	学部生11,350千円 (@50,000×227人) 編入生150千円 (@37,500×4人) 大学院生540千円 (@20,000×27人)
2 前年度からの繰越金	41,323,699	41,323,699	0	
3 雑収入	19,636	82,529	62,893	預金利息 82,529 円
合 計	53,443,335	53,446,228	2,893	
(支出の部)				
項 目	7年度予算(C)	7年度決算(D)	比較 (D-C)	摘 要
1 会議費	3,000	950	△ 2,050	総会旅費 950 円
2 事務費	181,000	102,050	△ 78,950	残高証明書発行手数料 660 円 役員への文書発送費 1,730 円 保護者懇談会案内送料 99,660 円
3 事業費	11,876,000	8,681,152	△ 3,194,848	
(1) サークル活動助成費	1,600,000	1,394,215	△ 205,785	自治会活動助成費 91,350 円 サークル助成費 1,302,865 円
(2) 大学祭等助成費	1,900,000	1,669,303	△ 230,697	
(3) 会報誌作成費	150,000	117,545	△ 32,455	
(4) 学生福利厚生費	3,720,000	1,879,493	△ 1,840,507	検査費(肝炎、新型コロナ、実習関係) 1,879,493 円
(5) 卒業関係・国家試験対策関係助成費	3,942,000	3,215,596	△ 726,404	卒業(修了) 年次研究等助成 2,174,920 円 // 展入れ △ 60,000 円 卒業関連事業助成 1,120,000 円 // 展入れ △ 50,304 円 修了関連事業助成 30,980 円
(6) 新入生研修費	480,000	377,530	△ 102,470	
(7) その他	84,000	27,470	△ 56,530	大学院新入生交流会
4 予備費	40,000	0	△ 40,000	
小 計	12,100,000	8,784,152	△ 3,315,848	
1 次年度以降事業費	41,343,335	44,662,076	3,318,741	
合 計	53,443,335	53,446,228	2,893	

1 長期預り金	—	92,308	—	注) 使途不明口座解約金
---------	---	--------	---	--------------

※次年度への繰越金 44,662,076 円 (総収入 53,446,228 円 - 総支出 8,784,152 円)

(収入の部) 令和8年度 後援会予算書

(単位: 円)

項 目	7年度予算(A)	8年度予算(B)	比較 (B-A)	摘 要
1 会費収入	12,100,000	12,495,000	395,000	学部生11,500千円 (@50,000×230人) 編入生75千円 (@37,500×2人) 大学院生920千円 (@20,000×46人)
2 前年度からの繰越金	41,323,699	44,662,076	3,338,377	
3 雑収入	19,636	82,529	62,893	預金利息(前年度実績)
合 計	53,443,335	57,239,605	3,796,270	
(支出の部)				
項 目	7年度予算(C)	8年度予算(D)	比較 (D-C)	摘 要
1 会議費	3,000	9,000	6,000	総会・保護者等懇談会出席に係る役員の交通費 @3千円×1人×3回
2 事務費	181,000	101,000	△ 80,000	残高証明書発行手数料ほか 1千円 監査・理事会案内、保護者懇談会開催案内送料 100千円
3 事業費	11,876,000	11,950,000	74,000	
(1) サークル活動助成費	1,600,000	1,780,000	180,000	自治会活動助成費 100千円 サークル助成費 1,080千円 (30千円×36団体) サークル特別助成費 600千円 (60千円×10団体)
(2) 大学祭等助成費	1,900,000	2,300,000	400,000	大学祭運営費
(3) 会報誌作成費	150,000	150,000	0	広報誌CAMPUSMAGAZINE発行費
(4) 学生福利厚生費	3,720,000	3,200,000	△ 520,000	検査費 肝炎 1,400千円 抗体価 1,300千円 実習関係 500千円
(5) 卒業関係・国家試験対策関係助成費	3,942,000	3,909,000	△ 33,000	卒業年次研究等助成・卒業関連事業助成 3,405千円 (15千円×227人) 修了年次研究等助成・修了関連事業助成 504千円 (12千円×42人)
(6) 新入生研修費	480,000	561,000	81,000	新入生研修に係る助成費 お弁当ほか 561千円 (1.7千円×(新入生230人+上級生80人+教職員20人))
(7) その他	84,000	50,000	△ 34,000	大学院新入生交流会
4 予備費	40,000	52,000	12,000	慶弔費など
小 計	12,100,000	12,112,000	12,000	
1 次年度以降事業費	41,343,335	45,127,605	3,784,270	
合 計	53,443,335	57,239,605	3,796,270	

注) 長期預り金は、令和5年4月20日に出金専用口座に入金したものです。
公立大学法人青森県立保健大学名義の使途不明口座を解約したことに伴う残金であり、将来的に権利者から返還請求がなされた場合に柔軟に対応できるよう、教務学生課所管の後援会の口座に長期預り金として入金した。

大学から後援会へ 教務学生課長 大西 学

日頃より、後援会の皆様には、学生の学びや学生生活に多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本学では、学生一人ひとりの成長を支えるとともに、各学年に応じたキャリア支援に取り組んでいます。その取組の一つとして、今年度からは、2年生を対象に、地域指向型の授業として「キャリアデザイン」を開講します。

県内の多様な活躍の場や魅力への理解を深め、地域で働くことを将来の選択肢の一つとして考えとともに、学生一人ひとりが自らの将来を見つめ、主体的にキャリアを描けるよう支援してまいります。

今後とも、学生一人ひとりの成長に向け、後援会の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

発行：青森県立保健大学 広報委員会・青森県立保健大学 後援会



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学

〒030-8505

青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1 電話 017-765-2000(代表)・FAX 017-765-2188 URL <https://www.auhw.ac.jp/>

